

毎週日曜発行
2025 3/16

こども新聞
週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



阪神・淡路大震災後に生まれた世代

ニュース



今月11日で東日本大震災14年ですが、阪神・淡路大震災は今年1月17日で30年になりました。地震を体験した人がどんど



来場者と防災すごろくを行うあすパ・ユース震災語り部隊のメンバー1月17日、神戸市

ん年を取る中で、神戸市で被災体験を聞き、語り継ぐ活動に取り組み若者たちがいます。生まれる前の大地震をなぜ伝えようとしているのでしょうか？



1月17日、神戸市で開

被災体験聞き語り継ぐ

かれた、震災の記憶を継承する催し「ひょうご安全の日」のつどい。企業や自治体などが展示や実演を行う中、防災すごろくで来場者と交流する地元の高校生たちのブースがありました。

活動の軸は、地域住民への震災体験の聞き取りと、その内容を伝える語り部活動。話を聞く場をカフェのようにするなど、住民がリラックスして参加できるような工夫をしています。

では現金を使う機会が減っているため、語り部活動でも紹介しています。



語り部隊は2022年に結成。活動の原点として、東日本大震災後に東北を訪ねた経験が大きいと池田拓也代表(48)は語ります。「東北の人たちが、阪神・淡路のことを心配してくれていたのに、地元のことを話せないのは恥ずかしい。じゃあ改めて学ぼうということになったんです」と振り返ります。

「ようやく30年前の地震を語る事ができた、と打ち明ける人も結構います」と池田さん。被災体験を語れるようになるまでの時間は人によって違うようです。

時間がたつとともに被災体験をした人は減ります。それは東日本大震災の被災地と同じです。池田さんは「震災を経験しなかった世代が活動する意義は大きい」と、東北の若者にもメッセージを送っています。

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

今週の注目ニュース

◇18日(火) ドジャースが東京で開幕戦
米大リーグのドジャースが18、19日に東京で開幕戦に臨みます。今永昇太、鈴木誠也が所属するカブス戦が注目です。ドジャースの大谷翔平(岩手・花巻東高)の投打二刀流が復活するかも見どころです。

今日の紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 かほく防災記者